

認 定 証

種 別	消火設備（合成樹脂製の管及び管継手）	
型 式 記 号	KCPE-FD07	
適 用 規 格	B018-19・B019-19	
申 請 者 名	所 在 地	大阪府堺市西区石津西町14-2
	名 称	株式会社クボタケミックス
	代 表 者	代表取締役社長 土 和 広
認 定 番 号	PL-069号	
認 定 年 月 日	令和4年（2022年）2月22日	
認 定 有 効 期 限	令和7年（2025年）3月31日	

上記適用規格に適合するものであることを認定します。



一般財団法人 日本消防設備安全センター

理事長 北 崎 秀 一

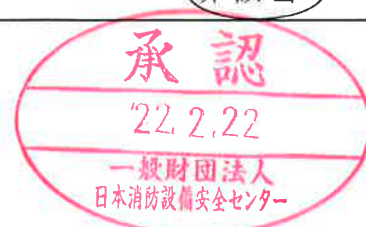


様式1号

合 成 樹 脂 製 管 等 の 明 細 書

申請者 株式会社クボタケミックス

項 目		明 細
1	型式記号	KCPE-FD07
2	呼び径	65A
3	最高使用圧力	1.25 MPa
4	最大支持間隔	2m
5	材質	日本水道協会 水道配水用ポリエチレン管(JWWA K 144) 水道配水用ポリエチレン管継手(JWWA K 145)
	規格	
	材質	高密度ポリエチレン (HPPE/PE100)
	引張・降伏強さ	(規格値) 20.0N/mm ² 以上 (試験値) 20.1N/mm ²
6	管継手の種類	別表による
7	接続方法 (方式)	電気融着 (EF) 接合方式
8	等価管長	管・管継手
9	用いることができる消火剤	別表による
10	特殊試験項目	なし
	気密試験	有 (無)
	長期静水圧試験	(有) 無
	耐薬品性試験	有 (無)
	耐候性試験	有 (無)
	耐熱性試験	標準耐熱性試験 有 (無)
	耐熱性試験	軽易耐熱性試験 有 (無)
11	高難燃ノンハロゲン性試験	有 (無)
	屋内消火栓設備	(該 当) 非該当
	屋外消火栓設備	(該 当) 非該当
	スプリンクラー設備	湿式 (該 当) 非該当
		乾式 該 当 (非該当)
		一斉開閉弁の二次側 該 当 (非該当)
	水噴霧消火設備	湿式 (該 当) 非該当
		乾式 該 当 (非該当)
	泡消火設備 (但し、消火剤混合装置の一次側で水配管に限る)	湿式 (該 当) 非該当
		乾式 該 当 (非該当)



別表

1. 管継手の種類及び等価管長

No.	品 名	等価管長
1	PE消火管 直管 65	—
2	PE消火管継手 EFソケット 65	管と同じ
3	PE消火管継手 90°EFエルボ 65	3.2 m
4	PE消火管継手 45°EFエルボ 65	2.0 m
5	PE消火管継手 チーズ 65×65	分流 4.2 m
		直流 0.7 m
6	PE消火管継手 チーズ 65×50	分流 3.8 m
		直流 0.8 m
7	PE消火管継手 SUSフランジ（JIS10K形，GF形） 65	管と同じ
8	PE消火管継手 SUSフランジ（JIS10K形，RF形） 65	管と同じ
9	PE消火管継手 レデュース 65×50	1.6 m
10	PE消火管継手 キャップ 65	末端使用
11	PE消火管継手 PE挿し口付異種管継手 65	管と同じ

2. その他

管及び管継手の色は青、黒、赤とする。



合 成 樹 脂 製 管 等 の 基 本 設 計 事 項

申請者 株式会社クボタケミックス

(1) 使用する消火設備の種類、湿式・乾式の別、使用する部位、設置場所

消 火 設 備 の 種 類	合成樹脂製の管及び管継手
湿 式 ・ 乾 式 の 別	湿式
使 用 す る 部 位	配管
設 置 場 所	屋内・屋外消火設備、スプリンクラー設備 水噴霧消火設備、泡消火設備

(2) 使用する材料のミルシート又は強度検査成績表

別紙による

(3) 管及び管継手の接続方式、施工方法

・接続方式

管及び管継手の接続方式は、EF（エレクトロフュージョン）接合。

EF接合とは、内面に電熱線を埋め込んだ管継手に管をセットした後、コントローラから通電して電熱線を発熱させ、管継手内面と管外面の樹脂を加熱溶融することで組織的に一体化させる接合方式。

・施工方法

別紙『水道配水用ポリエチレンパイプカタログ』による

(4) 管等（管に管継手を接続した試験試料）の図面

別紙による



(5) 支持方法を含めた設置方法

配管の支持は、横走り配管にあつては棒鋼吊り及び形鋼振れ止め支持、立て管にあつては形鋼振れ止め支持とする。

(6) 加圧送水装置から屋内及び屋外消火栓までの間で使用する部位を明らかにした代表的な設備系統図

